

2025年4月23日



農林中央金庫



農研機構

農林中央金庫
農研機構

持続可能な食と農の実現に向けた連携協定の締結について

農林中央金庫（代表理事理事長：北林 太郎、以下「農林中金」）と国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（理事長：久間 和生、以下「農研機構」）は、持続可能な食と農の実現のため、農業および食品産業における各種サステナビリティ課題の解決を目的として、2025年3月31日に連携協定を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

今後、農林中金と農研機構は手を携え、農業・食品産業における気候変動、自然関連をはじめとしたサステナビリティ課題の解決に取り組んでまいります。

記

1. 背景・概要

農林水産業やそれを取りまく気候と自然については大きく変化をしており喫緊の課題となっています。

気候変動への対応については2015年の第21回気候変動枠組条約締約国会議（COP21）でのパリ協定採択を契機に、グローバルに議論や対応が進展しています。日本政府が、「2050年の温室効果ガス実質ゼロ」そして「2030年の温室効果ガス46%削減（2013年比）、さらには50%の高みを目指す」ことを宣言する中、農林中金においても、2050年ネットゼロ実現に向け、2030年までに自社排出量のネットゼロ、および投融資ポートフォリオの脱炭素に向けては2030年中間削減目標を設定し、サステナブルファイナンス等に取り組むとともに、農研機構とも2022年3月に今回協定の前身となる温暖化問題を解決することを目的とした協定を締結し、これまで協働してまいりました。

加えて、近年は自然の喪失への対応についてもその重要性が高まっています。2022年の国連生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）において、昆明・モンリオール生物多様性枠組（GBF）が採択されて以降グローバルに議論が進んでいるほか、世界経済フォーラムが2024年に発表したグローバル・リスク報告書によると、気候変動のみならず生物多様性の毀損もトップリスクと認識され、人々の生活における影響を懸念する流れが一層高まっています。

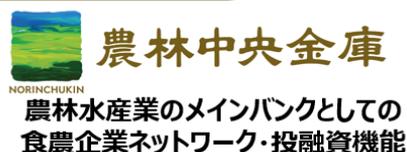
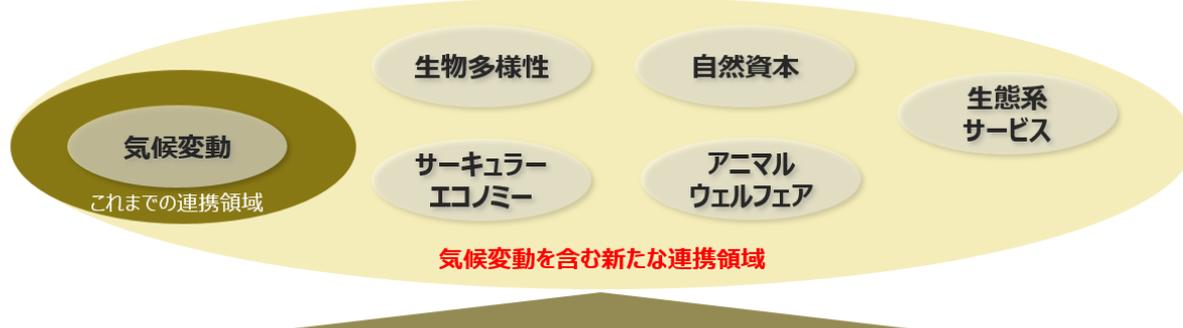
気候変動と生物多様性の課題は相互に関連し影響を与え合う関係にあることから、それぞれの課題に独立的に取り組むのではなく、同時解決を意識した取り組みが求められています。これを踏まえ農林中金と農研機構は持続可能な食と農を実現させるために気候変動のみならず自然等を含むサステナビリティ課題全般の解決に統合的に取り組んでいくことを目的として、新たな連携協定を締結いたしました。

■ 農林中金と農研機構の連携で目指す姿

サステナビリティ課題の解決に向けたソリューションを食農ステークホルダーに提供し、持続可能な食・農の実現に貢献します



食農ステークホルダーをとりまくサステナビリティ課題



2. 連携目的

農林中金と農研機構が連携し、農業生産者などを主体とする脱炭素やネイチャーポジティブなどの取り組みを促進し、農業・食品産業における気候変動、自然関連をはじめとしたサステナビリティ課題を解決し、食と農の持続的な発展に貢献することを目的とします。

3. 連携協定の内容

- (1) 温室効果ガスの削減技術の普及に関すること
- (2) カーボンクレジット制度の普及に関すること
- (3) 自然資本・生物多様性・生態系サービスに関する技術の普及に関すること
- (4) サークュラーエコノミーの普及に関すること
- (5) アニマルウェルフェアの普及に関すること
- (6) その他農研機構および農林中金が合意した事項

4. 連携協定締結日

2025年3月31日（月）

農林中央金庫 概要

組織名： 農林中央金庫

代表者： 代表理事理事長 北林 太郎

設立： 1923年12月

所在地： 〒100-8420 東京都千代田区大手町一丁目2-1

URL： <https://www.nochubank.or.jp/>

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 概要

組織名： 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

代表者： 理事長 久間 和生

設立： 2001年4月（1863年に設立された農商務省農事試験場を前身とする）

所在地： 〒305-8517 茨城県つくば市観音台三丁目1番1号

URL： <https://www.naro.go.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 経営企画部 広報コミュニケーション班（藏方・丹羽）

TEL：03-6362-7172

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

お問い合わせフォーム <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>